

平成25年度の国分寺老人福祉センター施設の管理について

1 施設概要

- (1) 所在地 高松市国分寺町新居 1150 番地 1
- (2) 構造等 昭和55年4月建築（平成3年，4年，12年に増築）
鉄筋コンクリート造2階建 施設床面積 1,729.63㎡
（老人福祉センター 1,175.82㎡ 武道館 553.81㎡）
- (3) 主な設備 浴室，機能回復訓練室，健康相談室，集会室他，2階に武道館併設
- (4) 平成22年度耐震診断結果
評価b(地震の震動および衝撃に対して倒壊し，または破壊する危険性がある。)
- (5) 運営形態
合併前は旧国分寺町が施設内の事務所を旧国分寺町社会福祉協議会に無償・無期限で目的外使用を許可し，業務運営および施設管理を業務委託していた。
合併後は，高松市社会福祉協議会を公募により指定管理者とした。
- (6) 施設の利用者数および事業費

	H19	H20	H21	H22	H23
開館日	293日	290日	292日	293日	293日
利用者数	5,744人	5,693人	7,273人	6,794人	6,952人
入浴	333人	209人	103人	67人	74人
集会室	5,411人	5,484人	7,170人	6,727人	6,878人
事業費	24,321,818円	19,253,134円	17,719,000円	17,673,000円	18,170,300円
利用者一人当たりの経費	4,234円	3,382円	2,436円	2,601円	2,614円

2 経緯

高松市国分寺老人福祉センターは，昭和55年に母子健康センター，武道館を併設し建設され，30年以上が経過し，社会環境の変化により，高齢者のニーズも多様化している。

また，施設開設以降，介護保険制度の創設，地域包括支援センターの設置などにより，多様な高齢者向けサービスが新たに提供されるほか，地区コミュニティセンターの整備，生涯学習環境や健康づくり施策の充実等により，老人福祉センターの機能と重複したサービスが様々な場所で提供されている。

こうした高齢者を取りまく状況の変化により，老人福祉センターの利用者は少なく，固定化している。

施設についても老朽化が進み，平成22年度の耐震診断で評価bの結果となり，地震での倒壊の危険性が指摘され，耐震補強工事が必要なことや，今後の施設の老朽化による維持修繕費の増大など，施設運営の継続に多額の費用を要することが見込まれている。

これらのことから，高松市国分寺老人福祉センターおよび武道館については，市としては耐震補強工事を行わず，購入希望の申し出のあった高松市社会福祉協議会への売却を検討することとし，24年度から1年間の指定管理者として，同協議会を指定した。

24年度中に国分寺中学校において武道ができる環境の整備が見込めない状況となり，25年度も老人福祉センターに併設した武道館の使用を継続することとなった。

3 今後の対応

平成25年度の国分寺老人福祉センターについては，指定管理期間が終了する24年度末で国分寺老人福祉センターを廃止し，暫定的に市が普通財産として管理する。

なお，老人介護支援センター，指定介護支援事業所のほか，本市が委託している生きがいデイサービス，高齢者と地域の交流などの事業について継続するため，施設のうち，高松市社会福祉協議会国分寺支所，シルバー人材センター国分寺連絡所の使用部分を貸し付ける。